

コウゾ (ヒメコウゾ)

【 区画⑩(54) 】

がくめい 学名	<i>Broussonetia × kazinoki</i> Siebold	ぶんるい 分類	カワ科コウゾ属
ぶんぶ 分布	ほんしゅう きゅうしゅう さんち 本州～九州の山地	じゅこう 樹高	じせいひん 自生品は2～5m程度になる落葉低木

〈 特徴等 〉

なまえ ゆらい 名前の由来	かみそ おんびん なまえ ゆらい ・紙麻の音便が名前の由来であるといわれている。		
は 葉の特徴	① じょうりよく 常緑 ・ らくよう 落葉	② こうよう 広葉 ・ しんよう 針葉	
	③ たいせい 対生 ・ ごせい 互生	④ たんよう 単葉 ・ ふくよう 複葉	⑤ きょしえん 鋸歯縁 ・ ぜんえん 全縁
かいかがとう 開花等	はる ・ 春になると、葉が伸びると同時に多数の小さい花が球状に咲く。		
けつじつとう 結実等	がつごろ ・ 6月頃、イチゴのように甘い赤い果実が緑葉のもとに球形に集まる。		
ほか その他	じゅひ にほんし わし つく ・ 樹皮から日本紙(和紙)が作られる。 げんざい さいばい すべ ほんしゅ ざっしゅ ・ 現在コウゾとして栽培されているものは全て本種とカジノキとの雑種である。		

〈 写真 〉

		
じゅもく 樹木 (5/12)	じゅひ 樹皮 (4/3)	は 葉のつきかた 葉の付き方 (5/12)
		
は 葉 (6/12)	はな 花 (/)	かじつ 果実(実) 果実(実) (5/12)

〈 参考文献 〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 657.
林 将之 (2018) 『葉で見わける樹木 増補改訂版』小学館, p. 193.